

名城大学総合研究所 研究センター中間報告会

申込不要
聴講無料

日時

平成27年
10月5日(月) 14:00 - 17:10

会場

天白キャンパス
研究実験棟II 2階 多目的室(K261)

プログラムスケジュール

14:00 - 開会挨拶 総合研究所長 伊藤 政博

14:10

-

15:30

生物資源環境国際研究センター
研究代表者 高倍 昭洋

テーマ「生物資源を活用する循環型社会構築の基盤研究」

世界各地で進行する生物資源の枯渇や環境破壊を食い止めるために、生物資源の持続的利用と環境保全の調和に関する基礎研究と応用的基盤研究を、国際的ネットワークを活用して研究を推進している。研究の一端を報告する。

- 1) 死海の耐塩性ラン藻の国際共同研究
紫外線カット物質合成遺伝子等の新たな展開
- 2) 植物の耐塩性に関する国際共同研究
タイ、インド、日本の事例
- 3) 沿岸域での生物資源の保全と環境修復
伊勢・三河湾での事例と博士取得者輩出
- 4) 微細藻類からのバイオディーゼル生産に関する国際共同研究
- 5) 脱水促進剤を活用した大都市圏におけるバイオマス資源の有効活用技術

15:40

-

17:00

プラズマバイオ科学技術研究センター
研究代表者 伊藤 昌文

テーマ「プラズマバイオ科学技術の創成を目指して」

本センターはプラズマ理工学と農学、薬学分野の融合を目指した日本で初めての学際的な研究拠点として設立した。プラズマとバイオ試料との相互作用を定量的に明らかにすることでプラズマを農学や薬学などに応用する技術や評価技術の確立を目指して活動している研究の進捗状況を報告する。

プラズマバイオ科学技術研究センター活動報告

研究代表者	理工学部	教授	伊藤	昌文
プラズマによる哺乳類培養細胞の活性制御	薬学部	准教授	村田	富保
酸素ラジカル制御によるキノコやカビの増殖制御	農学部	教授	加藤	雅士
プラズマ照射による植物の生長及び成分制御	理工学部	准教授	太田	貴之

17:10 - 閉会挨拶 学術研究支援センター長
原田 健一

主催：名城大学総合研究所